順慶寺だより

印刷・発行　順慶寺
2023年（令和5年）
1月号
VOL.351

ダイヤモンドリリー（庫裏玄関にて）

◆◇ 境内の花々 ◇◆

順慶寺境内には、様々なお花がある。中には、お宅で大切に育てた鉢植えを、一番綺麗になるころに持ってこられ、お寺に飾って行かれる方もある。冬の寺に咲き誇る花々（一面、四面の花々）は、持ち寄って下さった方の志をそのまま表現しているようだ。

◇ 初心忘れるべからず ◇

新年あけましておめでとうございます。

令和四年を象徴する清水寺の漢字は、「戦」でした。ウクライナ戦争は言うに及ばず、地球温暖化への闘い、円安・物価高・インフレなど経済との闘いなど、私たちの暮らしや未来に暗い影を落とす事態に、私たち自身の苦難に対する戦いの意味も含まれているそうです。

かつて、世阿弥（ぜあみ）が「初心忘れるべからず」という有名な言葉を『花鏡』に残しました。初心には、若年の初心、時々の初心、老年の初心があって、いずれのステージでも本質を見据えて自身を磨き上げることだとされています。私たちは、壁にぶつかるとそれであきらめたり、もういいではないかと慢心することが多いのですが、世阿弥は、壁にぶつかったときこそ、垢を落とし「まことの花」を咲かせるチャンスだと言います。

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より「初心忘れるべからず」に因んで、「たとえ多くの教えを諳（そら）んじていても

それを心がけ、実践しない人は
他人の牛を数える牛飼いと同じで
沙門の仲間には入らない」（第十九偈）

を選びました。このお言葉は、学問の生活を選び、五百人の弟子を作り十八の大集団の師匠となった大長老が、学問を得たことで自らを高みに置き、人々を見下していたのを見て、釈尊が大長老に与えた言葉です。

あるとき、若い修行僧が釈尊と大長老を表敬訪問することがありました。釈尊は、準備された坐に腰を下ろすと、若い修行僧に難しい質問をしました。傍らにいた大長老は、その

今月の釈尊の言葉

多くのことを覚えても
実行しなければ
果報を得ることはない

◆ダンマパダ（法句経）
第十九偈より

釈尊が学問で頭でっかちになった長老に鉄槌を与えた言葉です。

若院のテーマカット　NO.44

難しい問いに戸惑いましたが、若い修行僧は難なく答えることができました。釈尊は、その後にいくつか問いを出されましたが、ことごとく大長老は答えることができず、若い修行僧が答えました。釈尊は、若い修行僧を褒め讃えた上で、実践を怠るものは、何もしていないのと同じだと大長老を戒めたといいます。

釈尊は、年だからもういいと慢心せず、いくつになっても歩み続けることが大切だと教えて下さいます。

◇念仏もうさるべし◇

真宗門徒にとって、歩み続けることとは、常に念仏する生活を送ることをいいます。

明応二年（一四九三）元旦、当時七十九歳だった蓮如上人に、五つ年下で勧修寺村の道徳という門弟が年頭挨拶に来て、「道徳いくつになるぞ。道徳、念仏もうさるべし」（『蓮如上人御一代記聞書』）と語られたと言います。おそらく毎日念仏申す生活をしてきたであろう道徳に、まるでお年玉を貰う子どもに言い聞かせるようにおっしゃる蓮如上人。上から見下しているようにも見えますが、実は、いくつになっても念仏申す生活をさせて頂くことを、忘れず生活しないといけないと、年初の儀礼に訪れた道徳に言い聞かせたものでした。

念仏を歓び念仏に生きる蓮如上人が、念仏申す生活に慢心することなく、念仏して常に歩み続けていくことを門弟に伝えたひとこまでした。

私たちも、どんな苦難にあっても、念仏申して、「まことの花」を咲かせて行きたいものです。

①【世阿弥】
室町初期の能役者、能作者。観阿弥の長男。観世流2世の大夫。幼名藤若丸のち観世三郎元清。世阿弥は芸名。父の教えと足利義満の庇護により能を大成した。義満没後は不遇で、晩年は佐渡に流されている。『風姿花伝』『花鏡』など二十を越える能楽論書があり、幽玄美を重視し、〈花〉の理論や〈闌位〉という芸位について説く。（百科事典マイペディアより）

②【蓮如上人御一代記聞書】
主として、本願寺第八代・蓮如上人の御一代における法語や訓誡および上人の行動などを収録し、さらに蓮如・実如両上人に関係する人々の言動も記録されたもの。すべて箇条書きになっている。内容は、教義、倫理、生活、儀礼など多岐にわたり、故実や多くの人物の動静によって、懇切に興味深く記されている。（WIKIARCより）

じゅんこのなんでも質問！コーナー

お正月には、お寺や神社にお参りに行きますが、順慶寺にはお守りやお札がないし、おみくじもないですが、どうしてですか。

一年の始めの正月に、お寺や神社にお参りして、心も新たに一年をスタートさせるのは、素晴らしいことです。

特にお寺では、大晦日の夜に梵鐘を一〇八回打って、一年間の煩悩を打ち払い、心新たに新年を迎える習慣があります。

年始にあたり、新たな目標や希望を持つことは素晴らしいことです。しかし、それが他人に打ち勝つこと、有名になろうとすること、人から好かれるようにふるまうことに繋がるとすれば、たとえそれらが達成されたとしても、他の人からは嫌な人だと言われるだけですね。

ですから、仏さまの前では、これまでの弱い自分自身をさらけ出し、自身を見つめ直します。心をできるだけ鎮めて、今まで弱い自分を支えて下さった皆さんのご縁に感謝します。そのためには、お守りやお札は必要ありませんし、良し悪しを占うおみくじも必要ありません。

もちろん、自分の弱さから、お守りやお札、おみくじにすがりつくと心が楽になるということもあります。しかし、逆にこれらにすがりつくことで、煩悩が増えて、やがて自分の煩悩が怒りや憎しみに変化することも覚えておく必要があります。

若院の成長日記 Growth Diary

《第三十三回　お取越》

十一月から住職と手分けでお取越参りをさせていただいているのですが、お参りに上がらせて頂くと、小さいお子さんも一緒にお参りすることがあります。

遊びたいところをぐっと我慢して正信偈をとなえているところを拝見しますと、半ば義務感でお勤めしている自分が恥ずかしくなってきます。

私自身、何のためにお参りをしているのか問い直されている気がしました。

お寺とともに

若い力

十二月の寒い朝。

身をすくめながら朝の準備をしていると、境内の集合場所に走って行く小学生の男の子の水筒から、「カラン、カラン」、まさかの氷の音が聞こえてきました。

今日は月曜日でゴミ出しがあるからと、朝一番からミノムシのように何枚も重ね着をして、完全装備をして外に出ていた自分の姿が何とも恥ずかしくなってきました。つくづく、小学生の子供たちとは、もう細胞レベルで違うんだなと実感してしまいました。

折しもサッカーのワールドカップが開催されていて、日本代表の活躍に胸を打たれました。クロアチアに負けたあとにも、「将来子供たちが新しい世界を開いてくれるために、積み重ねが大事だ」と熱く語っていた選手たち。未来の世界の扉を開くのは若者たちなのです。

これからの若い人たちに心からエールを送りたいです。

1月　除夜の鐘

2月　ハスの手入れ

3月　竹林整備

4月　蓮師会でお勝手会活躍

4月　花祭り

令和4年　ウイズコロナを実践

順慶寺（じゅんきょうじ）の1年

一年間大変お世話になりました。皆さんのおかげでコロナ禍でも一年を無事終えることができました。

5月　有志による寺カフェ開始

5月　老院三回忌法要

9月　寺カフェ講座（オレオレ詐欺講座）

11月　帰敬式（報恩講初日）

10月　東大教授・牧野篤先生講演会

12月度護寺会物故者

釋尼慈愛
11月26日寂　長谷川愛美（58）
市場下組　遠藤春美様の妹

温香院釋尼妙久
11月28日寂　池田ひさ子（96）
みよし市　池田好文様の母

釋尼智灯
12月5日寂　横山智江（89）
今川西組　横山茂様の母

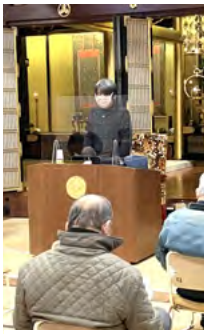
釋尼桐華
12月7日寂　鈴木きり（89）
今川東組　鈴木憲様の母

光輪院釋博徳
12月20日寂　塚本博一（76）
今川東組　塚本茂博様の父

5名の順慶寺護寺会員の方が生前の役割を終えられ、浄土におかえりになられました。合掌

編集部短信

◆真宗講座、次期も福田氏＝さる12月18日、令和4年度最後の真宗講座が開催された。コロナ禍で実験的に再開された真宗講座も大勢の聴聞者を得て無事終了。令和5年度も同朋大学副学長・福田琢氏を講師に迎える予定。


福田先生の講演

◆寺報九月で三十周年＝平成5年9月に始まった寺報が、いよいよ三十周年を迎える。その間、一度合併号が出た以外は、毎月発行し続け、令和5年9月で三六〇号となる。

編集雑記

令和4年、ウイズコロナと銘打って、順慶寺の諸活動を随時再開しました。三年に及ぶコロナ禍で、様々なことが懸念されましたが、最も盛会となったのは、お年寄りを中心とした、お楽しみ会。お楽しみ会には、コロナ前のメンバーに加え、新入会の方も多く含まれ、皆さん待ちに待った再開といったところ。寺は、皆さんのご縁を繋ぐ大切な場所だと再認識しました。（住）

……

先日、雪が降りました。数センチ程度の積雪でしたが、国道一号線が大渋滞で、お取越に向かう車の中で、何十分も立ち往生してしまいました。子どもの時分は雪が降ると無性に楽しかったのですが、今は無邪気に楽しめないなあと思った今日この頃です。（若）

編集・発行人　池浦裕哉
印刷・発行所　順慶寺内
真宗大谷派順慶寺
郵便番号　四四八―〇〇〇四
愛知県刈谷市泉田町池之浦三
連絡　電話　〇五六六(二二)一九三四
FAX〇五六六(二二)五六一三
郵送　郵送料毎月百円(年間千二百円)
振替〇〇八三〇―〇―一六二六九
会員　護寺会員には五百円にて一年間郵送をいたします。
インターネット　URL：http://www.junkyoji.com/
E-MAIL：support@junkyoji.com

順慶寺

1月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	日	修正会(大晦日23:45～、順慶寺)	
2	月	振替休日	
3	火		
4	水		
5	木		木-1
6	金		
7	土		
8	日	新春・寺カフェ寄席(9:00～11:00、順慶寺本堂)	
9	月	今川西組お取越　成人の日	
10	火		
11	水		
12	木		木-2
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		
18	水	今川東組お取越	
19	木		木-3
20	金	山ノ端組お取越	
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		木-4
27	金		
28	土	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	日		
30	月		
31	火	下高根・荒井地区お取越	

1月行事内容 詳細

修正会(年越し勤行)

12月31日(土) 23時45分
～1月1日(日) 1時終了

順慶寺本堂・玄関にて

コロナ禍の中、本年も大晦日から元旦にかけて、修正会(年越し勤行)を左記の日程の通り実施いたします。感染対策を講じ、本年も参詣の制限をせずに実施します。

《修正会日程》12月31日～元旦

23時15分　山門開扉
23時45分　本堂お勤め始め
　　鐘楼除夜の鐘始め
24時15分　住職年頭挨拶
　　責役・総代長挨拶
24時30分から　順次焼香(三十分間)
　　お屠蘇振る舞い

※お屠蘇の振る舞いは試飲カップにより実施します。お汁粉の接待は本年も自粛いたしますが、お土産と温かいお汁粉などの缶ジュースを準備いたします。

おしらせ

●順慶寺の備品貸出について

令和四年九月以降、順慶寺の施設や備品などの貸出ついて、「順慶寺関連施設利用規約」が制定され、護寺会員の皆さんは無償で、非会員の方は有償で順慶寺の施設等を借り受けることができます。

本年もよろしくお願いします

じゅんこのときめき歳時記

センリョウ

みなさん、いよいよお楽しみの正月ですね。正月はどうやって過ごしますか。私は、正月は美味しいものを沢山食べられるので、幸せですが、太るので心配なときです。

さて、正月の生け花でよく見る、赤い実をつける植物といえば、センリョウ、マンリョウ、ナンテンですね。でも、見分け方を知らないと、恥ずかしい思いをします。センリョウは葉っぱの上に、マンリョウは葉の下で鈴なりに、ナンテンはブドウの房のように赤い実をつけます。

センリョウの葉は、若葉を夏に採取して乾燥させると、抗菌、消炎、去風除湿、活血し止痛の効能があるとされていますが、日本ではあまり使われていないそうです。

また、センリョウは世界の中でも、最も古くから生息する被子植物の一つとされています。

千両や
母の講釈聴こえくる
葉月ひさ子